

第9回「企業の品質経営度調査」実施概要について

1. 調査の実績と目的

本調査は、2004年に第1回を実施して以来、2016年に9回目の調査を実施した（2013年からは隔年で実施）。主に製造業を対象に、TQM・品質経営の取り組みに関する調査票を送付して回答いただき、日本における品質経営の実態を調査した。

本調査の目的は次のとおり。

- ① わが国企業の競争力の源泉である「品質」について、品質重視の考えのもと、厳しい経営環境の変化に対応できる品質経営にしっかり取り組んでもらうよう働きかけること。
- ② 調査内容を企業の品質経営のセルフチェックに役立て、品質管理の推進に役立てていただくこと。
- ③ 品質経営度のランキングのみならず、各社の特徴ある品質経営のベストプラクティスを収集し、その内容を共有することにより、各社での品質活動のレベルアップにつなげていくこと。
- ④ 調査の結果は、新聞に公表して、品質重視の経営に熱心に取り組んでいる企業・組織の認知度を向上させ、さらに多くの企業に品質の重要性を認識していただくこと。

2. 実施概要

- 調査名称：第9回企業の品質経営度調査
- 調査：主催）日本科学技術連盟、後援）日本経済新聞社
調査解析）日経リサーチ
- 公表媒体：日本経済新聞、日経産業新聞
- 調査期間：2016年7月15日～9月16日
- 調査対象：**647社**（製造業、建設、ITサービス企業など）
- 回答社数（率）：**206社（回答率：31.8%）**

過去の調査実績

回数	調査対象社数	回答企業数	回答率
第1回（2004年）	514社	208社	40.5%
第2回（2005年）	528社	239社	45.3%
第3回（2007年）	523社	215社	41.1%
第4回（2008年）	530社	227社	42.8%
第5回（2009年）	600社	225社	37.5%
第6回（2010年）	643社	249社	38.7%
第7回（2012年）	651社	217社	33.3%
フォローアップ調査（2013年）	608社	170社	28.0%
第8回（2014年）	602社	192社	31.9%

■有効回答社数：206社

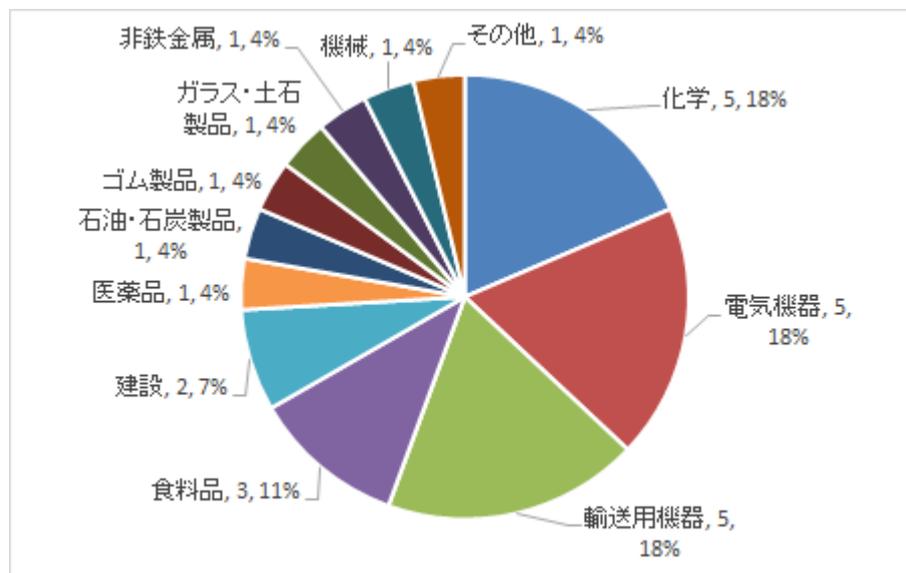
【業態】	【社数】	【割合】
組立	66	32%
部品	59	28%
素材	56	27%
サービス	25	12%

【業種】	【社数】	【割合】
電気機器	51	25%
化学・繊維・医薬品	35	17%
石油・ゴム・窯業・金属	26	13%
食品・水産	20	10%
機械・精密機器	20	10%
輸送用機器	20	10%
建設	18	9%
その他	16	8%

全社の従業員数は何名ですか。	
0名	0.0%
1～999名	14.1%
1,000～1,999名	6.8%
2,000～2,999名	4.4%
3,000～4,999名	11.2%
5,000～9,999名	16.5%
10,000～19,999名	18.4%
20,000～29,999名	9.7%
30,000～49,999名	9.7%
50,000名以上	7.3%
無回答	1.9%

2015年度の全社の売上高（概算値）をお答え下さい。	
0～4,999百万円	3.4%
5,000～9,999百万円	1.5%
10,000～29,999百万円	9.7%
30,000～49,999百万円	5.3%
50,000～99,999百万円	6.3%
100,000～199,999百万円	12.1%
200,000～299,999百万円	9.7%
300,000～499,999百万円	13.6%
500,000～999,999百万円	16.0%
1,000,000百万円以上	22.3%
無回答	0.0%

■新規参加企業の業種割合 新規参加企業：27社（新規依頼企業73社）



■調査票：調査項目数：66問

Aパート（全社的取り組みを対象）（30問）

①品質経営に関する企業理念の提唱と普及	1問
②品質活動に関する組織・体制	12問
③重大な品質トラブルへの対応	7問
④人材開発	8問
⑤品質経営に関する自社の品質評価・表彰	1問
⑥主張したい特筆すべき取り組み	1問

Bパート（基幹事業または基幹商品を対象とする）（36問）

①顧客志向とトラブル対応	7問
②新製品開発	9問
③販売・流通、運用・保守（アフターサービスを含む）	3問
④購買・外注	5問
⑤製造（品質保証含む）	11問
⑥主張したい特筆すべき取り組み	1問

3. 今回の調査のポイント

品質経営のベストプラクティスとなり得る各社の優れた取り組みを抽出できるように調査票を設計し、各社で行われている品質向上のための特徴ある活動やパフォーマンスを細かく聞いた。

- (1) A、Bパートの設問の中で、企業が主張したい特筆すべき取り組み（改善が進みベストプラクティスにもなりうる）を3つ挙げ、具体的に優れているところを記述できるようにした（500字以内）。
- (2) 各社の品質経営推進に役立つ情報を引き出すために、記述回答の形式を見直し、コンパクトに、簡潔に回答できるようにした。
- (3) 前回同様、調査対象企業を業種だけではなく、次の4つの分野（業態）に分けて解析した。
 - ① 素材系
 - ② 部品系
 - ③ 組立系（システム製品）
 - ④ 非工場系（プロジェクト型／ソフトウェア、建設）
- (4) 品質不良コストの継続的な調査を実施した。

4. 公表形式について

ランキング形式で、総合、指標別、業種別、分野（業態）別のランキングを公表した。

- (1) 総合ランキング：日経産業新聞に上位100社を公表した。
- (2) 指標別ランキング：次の6つの品質経営指標に基づいて、各指標の上位10社を公表した。
 - 企業全体：①経営者のコミットメント
 - ②品質経営を継承する人材育成
 - ③安心・安全・信頼のマネジメント
 - 基幹事業（商品）：④プロセスの確立・順守
 - ⑤顧客志向
 - ⑥仕組みの水平展開
- (3) 業種別ランキング：上位10社をホームページで公表した。

(4) 業態（分野）別ランキング：上位 10 社をホームページで公表した。

総合ランキング上位 10 社

総合順位	前回順位	社名	総合得点
1	2	ジーシー	409.1
2	1	コニカミノルタ	408.1
3	32	竹中工務店	407.5
4	6	キヤノン	398.5
5	37	サントリーホールディングス	393.4
6	11	デンソー	392.1
7	14	三菱電機	391.7
8	4	富士フイルムホールディングス	386.0
9	20	リコー	385.2
10	10	大日本印刷	384.1

5. 調査スケジュールと普及事業

月	実施内容	日程
2016年7月	調査開始	7/15(金)
2016年9月	調査終了	9/16(金)
2016年10月	調査解析作業	
2016年11月	日経リサーチからの納品 新聞での調査結果の公表	10/6(月) 11/29(金)
2017年1月	調査報告講演会 優秀企業賞表彰（総合ランキング上位5社）	1/31(金)

以上